

令和元年度新年度予算懇談会 開催議事録

開催日時：令和元年6月16日（日）午前10時00分～11時30分

場 所：友部図書館 視聴覚室

出席者：2名

《予算説明後の意見交換》

- 1 少子高齢化について
- 2 高齢者ドライバーについて
- 3 道の駅について
- 4 トモアの地中熱システムについて
- 5 多目的広場について

1 少子高齢化について

【意見等】

第3次笠間市行財政改革大綱に、これから少子高齢化が進んで、税収がかなり減ってくると書いてあった。企業誘致や移住促進など色々対策を考えていることが感じられたが、不安な部分もある。

【回答】

少子化対策はこれから重視されていくと思います。子どもを産む世代が減っていて、結婚をしない方も増えてきているので、どうしても子どもは減ってきてしまっています。

現在の政策は、子どもたちを預けて働いてもらおうという色合いが強い感じがしていて、個人的には家庭で子育てをしたいと思っている方をもっと支援する必要があると思っています。

具体的には、0～2歳の時は、家庭で子育てができるような支援や、負担の大きい大学の入学金の支援などが考えられると思います。

また、県内の大学からそのまま定着してくれる方が多いので、県内の大学の魅力や特色の向上も重要だと感じています。

2 高齢者ドライバーについて

【意見等】

最近が高齢者ドライバーの事故が報道されていて、私も後期高齢者なので、運転する際に肩身がせまい。免許返納を迷う一方、車がないと本当に困る。

自動ブレーキなど、事故を減らす効果のあるものをつければ、もう少し運転できるかなと思っている。東京都では自動ブレーキを後付けする費用の9割を補助するという話を聞いたが、笠間では補助の予定があるか。

【回答】

事故を減らす装置は、事故を起こした時のお互いの被害を考えると、つけるべきものだと感じています。しかし、それに対して市からの補助は今のところ考えていません。自己防衛として自己負担で行う部分ではないかと思います。

3 道の駅について

【意見等】

道の駅がこれからできるが、独自色を出すことが大事だと感じている。たとえば、友部高校や笠間高校が近くにあるので、学生が運営するブースを作って、運営を学べる場を作ってあげてはどうか。常陸大宮市の高校では、株式会社を作り、商品開発をして販売するなどの活動をしている例もあるが？

【回答】

道の駅については、最低限のスペースしか確保していないので、イベントの際に、絵や焼き物を販売するなどのブースを設けて活動を行うことはできるのではないかと思います。

これまでも、イベント時に高校生がお店やブースを出すなどしています。また、市内の工房のスペースの一部を使って作品の販売をする話も出てはいますが、なかなか話が進んでいない部分もあります。

4 トモアの地中熱システムについて

【意見等】

地域交流センターともべ「トモア」に、地中熱利用換気システムが導入されていて、最初は電気がついていて、説明書きもあったのですが、今は電気が消えて、説明書きも端の方へ置かれてしまっている。

自然エネルギーや再生可能エネルギーが注目されている中、せっかく導入したもののなのだから、管理者が意識をもう少し持ってPRしてもらえれば嬉しい。

【回答】

ご意見があったことを管理者に話をしたいと思います。

5 多目的広場について

【意見等】

畜産試験場の所につくる多目的広場の駐車場について、ふるさとまつりの時は100台分では足りないのではないかと。足りない時は、芝生の広場を駐車場として使うのか。

【回答】

駐車場については最大の利用に合わせての整備はできません。ただし、芝生の広場は、車を入れると芝が傷んでいますので、駐車場としての利用は考えていません。出店関係者は別の駐車場を利用するなど対応をしてもらえればと思います。